

新農山漁村建設の話

解題

蚊とハエのいない生活！

神之浜、麓を特定地域に

家畜を飼うには届出を

新農山漁村建設の話

解説

蚊とハエのいない生活！

域に
は届出を
②にわとり 100羽
③あひる 50羽
④サギ 100頭
2、畜舎は次のような構造設備でなければならぬ。
① 畜舎は掃除しやすいよう適当な広さと高さがあること。
② 床はコンクリート又は厚板で作り勾配と排水溝を設ける。
③ 内壁は飼育家畜の種類に応じて適当な高さまでコンクリート等りか板張りとすること。
④ 畜舎を掃除するため水槽を設けること。
こと。
の確立が先決
んにするには
す。 水陸橋の早期栽培が普及しそうだ
一の農林業経営向上のために最も必要な事業を数種とりあげ県並
国への認可を経て、補助金、融資、自己資金等により事業を実施する
ことになります。
その間の協議決定には前記の委員会がその任に当たります。
但し、協議会設置より事業実施に当るまでの間に、是並に國の厳重な審査を経て、予備地盤計画地域、特別助成地域等三段階の指定を受けなければならないことがあります。
以上で本計画があらましは大致わかりでしようが、この計画があくまでも地域農山漁家の総意
ながら

要するに「蚊とハエ」のいらない
活環境を作りあげることが目的
ありますから、自分のことと同じ
努力していただきたいもので
特定地域外の方もそれぞれ工夫
して飼料とする畜舎で調理の
に著しい臭氣を発するもの
別に飼料取扱室を設けること
のうちからいかげていただきよ
う願っています。

県では防災営農の一つとして、随稲早期栽培を推進しています。有資営農も防災営農に大きな役果を果すものです。しかし有資営農を行なうには家畜飼養に応じた飼料計画がないといい成績をあげられません。自分の家の家畜飼養に必要な年間の飼料自給計画を立て、堆肥も増産され他の作物も増作り生産コストの切下げはかないものです。飼料が増産されれば家畜飼養頭数を殖すこともできません。自家飼養頭数を殖すことでも、飼料の自給率を向上させサイロ等を作ります。町では次のように飼料としても個々バラバラの栽培で上地帯では、秋馬鈴薯、夏まきのかんらん、ラツキヨウ、シボンカズ、白穂の新種、早掘馬鉢薯、えんどう、いんげん、西瓜、果菜類の促成栽培、契約栽培による理想人根、高菜など、上地帯では、秋馬鈴薯、夏まきのかんらん、ラツキヨウ、シボンカズ、白穂の新種、早掘馬鉢薯、えんどう、いんげん、西瓜、果菜類の促成栽培、契約栽培においても個々バラバラの栽培で、おたがいによく研究しあへ良好の方法を見出そうではあります。が先決であります。

作物を水陸稲旱期跡作に栽培
ことを奨励しています、種子を
販売しますので期日までに現
地で販賣して下さい。

飼料作物を 栽培の後作に

二 飼料作物

私は一カツオブシ

高木生編題目二

する予定因みに主なる図書は次の通り